

## <新型コロナウイルス> ゴールデンウィークを迎えるにあたっての龍ヶ崎市長コメント

ゴールデンウィークを迎えるにあたり、龍ヶ崎市長から市民に向けたコメントを発表しましたのでお知らせします。

### ■龍ヶ崎市長 中山 一生 メッセージ

龍ヶ崎市民の皆さん、龍ヶ崎市長の中山です。

4月16日、全国すべての都道府県に出された緊急事態宣言に加え、茨城県が、東京と同列に「特定警戒都道府県」に位置付けられてから2週間が経過しようとしています。

この間、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、ともに戦ってくださっている市民の皆さんや事業者の皆さんに敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。

そのお力もあり、この間、龍ヶ崎市で確認された感染者数は限定的で、市中感染を阻止している段階にあると考えています。

世界で感染拡大が進む中、日本ではゴールデンウィークを迎えます。これを、私たちは感染拡大防止のための好機と捉えなければなりません。

国がこの連休中に発表するとのことですが、緊急事態宣言の延長も想定されるなか、連休に入る皆さんはもちろん、私たちの生活を支えるために連休中も働いている皆さんも、本年は感染拡大を阻止する正念場という意識を強めることが求められています。

また、国の「特別定額給付金(仮称)」は、5月下旬までに通知が届くよう、鋭意準備を進めています。国や県との連携はもちろん、独自の支援策も順次実施してまいります。

茨城県が県立学校の臨時休業期間延長を発表したことを受け、龍ヶ崎市も市立小中学校の臨時休業期間を、同様の5月31日まで延長することに決定しました。教育委員会としても、連休明けには在宅で新学期の学習を進めていくための取り組みを開始します。

また、自宅での学習が充実するように、小中学生の皆さんに2,000円分の図書カードを郵送する予定です。

市役所は、連休中も対策本部体制および電話相談窓口業務を継続します。すでに在宅・分散勤務などにより、業務継続のためリスク分散を図っています。さらに、市役所内の感染を防止し、市役所機能を維持していくため、入り口に体温を感知できるサーマルカメラを設置し、体温の状況により特設窓口にご案内するなどの対応を開始します。また、子どもたちへの感染防止を強化するため、たつのこやまの大型遊具の使用禁止などを実施します。

ご不便をおかけいたしますが、ひとりひとりの大切な命を守る重要な局面をともに乗り越えてまいりましょう。

本日、県は「大型連休いばらき観光ロックアウト宣言」を出しました。

子どもたちをはじめ、市民の皆さんは、心身ともにご負担が大きくなっていると存じますが、このゴールデンウィークの買い物は通販や宅配などを活用し、ご家庭で楽しむことができる、読書・芸術・音楽・映画など、ご自宅でゆっくりとした時間を過ごす好機としてください。

そして、極力『家にとどまる』『帰省をしない、させない』『遠近を問わず移動しない』を徹底し、この正念場を乗り越えるため、市民の皆さんの思いをひとつにしてまいりましょう。

担当課	龍ヶ崎市新型コロナウイルス感染症対策本部 広報班(担当:シティセールス課) 担当者:横張(よこばり) 連絡先:0297-60-1523(直通)
-----	---